No.021

JANUARY 2014 1

FUSO TRUCK & BUS MAGAZINE

All for you

FUSO

もっともっとGood サポート宣言!

MITSUBISHI FUSO TRUCK & BUS CORPORATION

建設現場の安全を支える確かな足場の施工サービス。

安心・安全に配慮した、ビケ足場の施工サービスを担う。

大阪府　株式会社ダイサン

住まいづくりに足場の施工は切っても切り離せない。数ある足場の中でも高い知名度を誇るのが「ビケ足場」である。その祖となる会社こそ、大阪に本社を置く株式会社ダイサンだ。足場のトップブランドとして、美しい車両で運行するために、同社は５年のリース契約で、小型の平ボデーを全国の拠点に配備している。

現場のニーズに応えてキャンターを導入

日本初のクサビ式足場となる「ビケ足場」が開発されて以来、ビケ足場の名称は、仮設足場の代名詞にもなっている。開発したのは、株式会社ダイサン（当時、大三機工商会）。住宅建築の現場ではまだ丸太足場が主流だった頃に、より安全な足場の材料と施工をまとめて請け負うということで広く受け入れられ、今や全国６エリア25拠点のサービスセンターを擁するまでに成長した。

展開エリアは、首都圏エリア、京滋東海エリア、近畿エリア、中国エリア、福岡エリア、そして中九州エリアに分類されている。それぞれの拠点で、２トンから3.5トンのキャンター平ボデーを中心に５年のリース契約で、部材を運ぶ車両を導入している。

「カラーリングが剥げたり、傷がついている車両を扱っていると、社のブランドイメージを低下させてしまいます。ですから弊社では美観を重要視し、車両リース期間を５年までと定めていま

株式会社ダイサン
専務取締役
藤田 武敏 氏

「市場に左右されずに成長できる企業でありたい。企業力を磨いて、年商100億を目指します」

手すり先行の作業手順によって安全性を高めた「ビケ足場BX工法」。
墜転落災害の抑制や、物損・汚損を大幅に減らすことができる。

全国の拠点でも有数の広さを誇る埼玉サービスセンター。敷地内には足場となる部材が綺麗に整えられている。

す」。専務取締役の藤田武敏氏は、ブランドイメージのこだわりを語る。

かつては別のメーカーの車両を全拠点で導入していたが、およそ8年前からキャンターへと徐々に切り替えた。

「現場からは、三菱ふそうさんの車両を望む要望が多かったんです。特に取り回しが良いという声がありました。1棟分の足場を施工するためには、およそ3.5トンの車両が1台必要です。しかし狭い路地など、3.5トン車両が通れない現場もあります。すると2トン車2台で向かわなければならないし、当然それでは効率が悪い。しかし三菱ふそうさんの3.5トンなら、回頭性がよく、通行できることがあります。また乗り心地も良いと聞いています。そういう意見もあったので、三菱ふそうさんの車両に切り替えることにしましたが、現場での評判も上々です」

首都圏エリアの中核となる埼玉サービスセンターの現場の声

大阪市に本社を構えることで、西日本を中心に事業展開を図っていたが、2006年から首都圏エリアに進出。現在では全国6エリアの中でも、最も高い売上をマークしている。大躍進を遂げた首都圏エリアの中核とも呼べる拠点が「埼玉サービスセンター」だ。首都圏エリア3拠点目として2007年に埼玉県狭山市にて開設された同サービスセンターは、敷地面積約2300坪と、同社の拠点として最大級の広さを誇る。

ダイサンでは、地域の道路状況や顧客のニーズの動向によって、各拠点の配備車両を選定している。都内の練馬区や板橋区、杉並区などもカバーする埼玉サービスセンターでは、狭い路地が多いこともあり、2トンのロングやショート、3.5トンの新型キャンターを導入。そのほとんどが新型のAT車である。

「オートマチック車を導入するようになって、現場のスタッフはラクになったと言います。埼玉サービスセンターは都内での施工を請け負うこともあるので、渋滞の多い都内ではクラッチを踏まずにシフトチェンジできるということで評価が高いです」。埼玉サービスセンターのSC長、安河内直樹氏は、現場の声を代弁する。平均年齢が20代半ばという施工スタッフの若さも、AT車が受け入れられている要因だ。

作業効率と安全性を高める取り組み

「近年、弊社では人材の育成に力を注いでいます。足場の施工においては、厚生労働省に認定された社内検定『ビケ足場施工』を中心に据えた教育で、現場の作業方法の標準化を図っているのも、そのためです。車両運行も同様で、いかに事故を起こさないようにするかという取り組みを強化しています。『現場周辺では周囲を確認してから発進するように』とか、『現場に入る際には、一旦停止をするように』など、細かい部分で指導しルール化することで、事故削減に取り組んでいます」と前述の藤田氏は語る。

また同社では、毎月第一月曜日を「安

足場の組立作業

施工スタッフは、そのランクに応じて着用ヘルメットの色が異なる。白は一般、青がチームリーダー、赤がシニアチームリーダーだ。

今月の表紙
左から　河邊 善憲 氏　小山 優樹 氏
山本 誠一 氏　渡邉 智徳 氏

仮設業界初となる厚生労働省認定を取得した、足場施工の社内検定制度の模様。合格すれば「ビケ足場施工士」の資格が与えられる。

パレットを利用することによってリフトで部材の積み降ろしが可能となった、「BPシステム」。首都圏を皮切りに、全国の各拠点で順次導入されつつある。

全の日」として、すべての拠点で、足場の施工に使う装備品を点検し、車両についてもタイヤやエンジンオイルなど、車両点検も徹底している。

安全性を高めるために、全拠点の全車両にドライブレコーダーも導入した。走行の記録はすべて本社で確認し、スピードの出しすぎなどもチェックする。

さらに、住宅現場ではリフトが使用できないため、拠点においても手で荷積み、荷降ろしを行っていたが、現場での作業性が高いパレットを開発し、リフトを使用できるようにした「BPシステム」を、首都圏を皮切りに段階的に導入。同システムの導入により、現場スタッフの体への負担が減り、作業効率が高まった。何より、荷崩れ防止等、安全面にも寄与している。

「今後は、全拠点にBPシステムを導入していきたいと考えており、より扱いやすくするため、パレットのサイズに合わせたオリジナルの車幅など、車両のレイアウトも考慮していきたいと思います」（藤田氏）

株式会社ダイサン
首都圏エリア 埼玉サービスセンター
SC長
安河内 直樹 氏

「首都圏の母体として、埼玉サービスセンターが他エリア・他拠点を牽引していけるよう、人材を育成していきたい」

本社

安全の日

法人名／株式会社ダイサン
本社／大阪市中央区南本町２丁目６番12号
サンマリオンNBFタワー３階
設立／1975年
代表取締役／三浦基和
社員数／412名
保有車両／270台

首都圏エリア
埼玉サービスセンター
埼玉県狭山市大字
上広瀬1201-1

新型車になって、良い顔になったなと思います。

三菱ふそうさんの車両は、やはり現場からも使いやすいという声を聞きます。以前、別のメーカーさんの車両を導入していた頃は、メンテナンスが悪いだとか、対応が悪いだとか、そういった噂が耳に入っておりましたが、三菱ふそうさんに切り替えてからは、そういった問題も聞こえてこなくなりました。そういった意味では充分満足させてもらっています。
（藤田武敏氏）

新車両で表情が変わって、勇ましくなった印象ですね。特にオートマチック車が乗りやすいと評判です。マニュアル車も、ギヤの位置などが、ふそうさんの場合は扱いやすいという声をよく聞いていました。内装的にも使いやすいので、よく考えてデザインされているんだなと感じています。　（安河内直樹氏）

私たちのサポート宣言

特販部
南関東駐在

全国の拠点と連携を取りながら大手お客様のニーズに応えます。

■全国に拠点をもつお客様のために尽力

特販部は、新川崎の戦略チームと全国8箇所の各駐在で、全国に拠点を持つ大手のお客様へのご対応をさせていただいております。もちろんサービス面においては、各地区SC及び独立系販社の協力を得て、全国どこでも同じ対応やサービスが行えるよう連携を図っています。南関東駐在としては現在10名が在籍し、そのうち8名の営業スタッフが東京・千葉・埼玉・長野・山梨のお客様をサポートさせていただいております。

■お客様の立場に立った講習などもご提案

南関東駐在では、明るい対応のできるレベルの高い営業マンを揃えながら、お客様のご要望に対して、いかにクイックなレスポンスができるかということに重点を置いています。新車の販売や整備の入庫をご提案するのはもちろんですが、安全運転講習や省燃費運転講習など、お客様企業の視点に立った様々な講習も行っております。特に私たちは市場の大きな地区を任されているので、全国でも20%以上となる販売目標を掲げ、これからも良好なチームワークを発揮しながら、お客様のご要望にお応えしていきたいと思います。

南関東・甲信特販担当部長
小坂俊弘

南関東の駐在として、全国に拠点をお持ちになられている大手のお客様を担当しております。全国展開されているお客様だからこそ、全国どこでも均一の対応やサービスが求められています。そのためにも、スピード感のあるレスポンスができるよう、スタッフ間での情報交換を多く行うことが必要不可欠です。私自身もまた、明るさと忍耐力を持ち味として常にお客様の目線に立ち、ニーズにマッチした車両や仕様のご提案ができるよう、日々心掛けています。

明るさと忍耐力で、スピード感のある対応を目指します

■営業

南関東駐在　**藤島康宏**

新川崎本社で、大手広域のお客様への営業を担当しています。以前は生産本部に在籍しておりましたが、1年前に特販部へと異動となりました。営業の仕事は想像以上に難しいことがたくさんありますが、それだけに毎日が新鮮で、やりがいも感じております。日々、迅速に対応することを第一に心掛けているので、そうした対応がお客様に感謝されたときには、やはり嬉しいですね。これからもお客様への感謝の気持ちを忘れずに邁進していきたいと思います。

営業職は難しいけれど、毎日が新鮮です

■営業

本社特販部　**秋葉愛子**

特販部　南関東駐在
品川区東品川3-12-1
☎03-3458-8811
(9:00-18:00)

よくわかる 東野正彦氏の 経営相談所

「よくわかる経営相談所」は、トラック運送業に精通する経営コンサルタントの東野正彦氏が、読者の皆様の経営に対するお悩みにお答えするコーナーです。

コストに強い経営体質にするマネジメントのポイントは？

価格競争が激しさを増すなど経営環境が厳しくなり、営業利益が下がりつつあります。競争力のあるコストに強い経営体質にするにはどうしたらよいでしょうか。

相談者のプロフィール

事業内容	主にコンテナターミナルからの貨物輸送
従業員数	50名
保有車両	42台

■プロフィール

東野正彦 氏

（株）創造経営センター取締役、コンサルティング事業部長。全国各地のトラック運送業の経営診断・指導に携わり、トラック協会のセミナーなどの講師も務める。「トラック環境経営」「トラック経営革新」など著書多数。

1 まずは「内を固める経営」から

トラック運送事業者が、今日の厳しい環境変化に適応していくのは大変なことです。業界の大部分を占める中小規模の事業者は、まずは足元の改善を徹底して「内を固める」ことを優先し、「外に拓く」企業へと体質改善を進めていくことが重要です。コストに強い経営体質づくりもこの一環で考える必要があります。

表1に、「内を固める経営」の特徴を示しましたので、他の「経営」と比べながら、自社の現況判断の参考にしてください。

次に階層別のチェックポイントをあげてみましょう。

2 現場業務層の「規律」と「訓練」を疎かにしない

ドライバーなど現場業務層の教育訓練というと、講演や専用のビデオ鑑賞、安全運転講習会等の受講を熱心に行う事業者が多いのですが、これらの教育が効果を上げるためには、前段階として職場に「規律」とこれを徹底する「訓練」が必要です。多くの事業者で、「あたり前」と思われることの訓練が疎かにされている場合が少なくありません。

その理由は「社会人の常識」「プロドライバーの常識」としてドライバーや管理者任せにしてしまっていることにあります。

しかし、コスト競争力があり、安全や

3 リーダー層を自発的取り組みの中心にする

現場業務層は、管理者層やリーダー層によって構築された仕組みや醸成された風土の中で業務を行っています。現場を改めようとするならば、その川上であるリーダー層、管理者層の取り組みを見直す必要があります。

現場での基本的な行動の徹底や、コストダウンおよび事故防止は、仲間同士の自発的な取り組みがあってはじめて実現します。現場リーダーの質、それによって形作られる風土が、現場のルール・手順の運用を左右するのです。

4 管理者はマネジメントシステムを構築、運用する

管理者の役割は、業務について現場リーダーと現業職任せでなく、マネジメントシステムとして統括することです。

ポイントは、現場リーダー、現場業務層に「目標」を持たせることであり、そのためのアクションプラン（行動計画）

■ 職場とリーダー層の特徴

生き残る職場とリーダー層	○安全を入り口に、ルール・手順が整備され、運用されている ○班活動などの小集団活動が定着し、経営者の意思が伝わる —チームワークがまとまり職場の目標に向かって取り組むことができる —挨拶、清掃、基本手順など、リーダー自ら現業職の模範 —リーダーが現業職の面倒をみることができる ○会社と現場をつなげる意識のリーダーがいる

業務品質で評価の高い事業者は、この「あたり前のこと」が全員で徹底できるよう一から訓練し、習慣にまで高める仕組みと風土があります。そして、仕事のルールや手順がしっかり守られているのです。このような基礎的な教育と風土により、土台を固めることが必要です。

■ 表1「内を固める経営」の特徴

	衰退する経営	内を固める経営	外に拓く経営
会計	○月次決算は全社レベル ○売上利益計画は全社レベルのみ ○実績検討会は役員のみで現場にない	○部門別・車両別・荷主別の損益計算をしている ○原価計算（車両別・荷主別）をしている ○現場で原単位管理が（㎞あたり原価、稼働率、実車率、積載率等の管理）が行われている ○3か月先行管理をしている	○中期的計画にもとづいて年度計画を立てている ○日々決算をしている ○キャッシュ・フローが中心（回収・支払） ○3か年先行経営 ○健全な財務体質
職場	○ミス・ロス・クレーム報告はあるが、その場しのぎ ○規律（挨拶・報連相・整理整頓）が不十分で管理者も現場任せ ○職場への不満が多く、離職が多い ○班長、リーダー制はあるが、経営者や管理者からの指示が中心	○ミス・ロス・クレームを生かす改善の仕組みがある ○規律があり、基本的な行動が定着 ○定着率が高く、職場に和ができている ○班長（リーダー）が育ち、班長（リーダー）中心に自発的な改善活動が継続	○ミス・ロス・クレームこそが進歩の源 ○基準行動が売り物、企業文化となり、人を育てている ○班長・リーダーが人を育てることができる。人が育まれる環境がある
経営者	○視点が短期的 ○経営者が全てに関わらないと動かない ○荷主のことより自社のことで頭が一杯 ○右腕、左腕が育たない	○中核人材が育成されている ○経営者が行動性、専門性を高めている ○ベンチマーク企業を持ち、自社の業務や経営を改善	○業界、地域等へと視野が広がっている ○共生、共益の考えを通じ、信頼・信用を高めている

※○の大きさは、特徴を判断するうえでの重要度を表す

経営のお悩みをご相談ください！

『東野正彦氏のよくわかる経営相談所』では、運送事業にかかわる経営のお悩みを受け付けています。FUSO TRUCK & BUS MAGAZINE事務局宛にメールまたはFAXでお寄せください。

採用された方には、
三菱ふそうオリジナル キャンターダイキャスト モデルをプレゼント
いたします。

1/43スケール
（全長約135mm）

えば、ドライバーはトラックのメーカー等が実施する省エネ運転講習にも高い関心を持って受講でき、日々の業務に活かすことができるのです。

達成すべき目標があるからこそ、例を決めさせること。「目標」を実現するための適切な指導やアドバイスが管理者の役割です。

■ 管理者層と管理活動の特徴

衰退する職場と管理活動	○事故・クレーム対応、目先の仕事に追われ、管理者の仕事ができていない —現場からの情報がつかめていない —コミュニケーションが取れていない、信頼関係がない —現場からの依頼を実行し忘れる ○事故が起こるのは仕方がないと考えている（無理な業務、運行を継続） —事故は起こした運転者の責任・負担 —事故やトラブルの報告が遅れがち ○管理者は一人よがりで、実行力が乏しい
生き残る職場と管理活動	○管理者の言行が一致し、信頼がある —現場との信頼を何よりも大切にしている —周りの協力を引き出し実現する ○安全を通じて、ルールを守る風土を実現している —業務システムに安全が組み込まれている（営業・運行・車両・労務・教育等） —事故の再発防止策は、業務システム全般を対象としている ○部門（営業所）で計画を立てて自律的に運営しているなど
持続発展する職場と管理活動	○事業運営できる経営者クラスの幹部が育っている ○相互に連携した経営機能別の経営計画が運用されている —経営機能が組織上分担されている（開発・営業・業務・人事・情報等） —部門を超えて連携したプロジェクトや革新チームの取り組みがある ○安全等の文化や行動が、顧客や地域で企業ブランドとなっている

5 「コスト競争力強化」の入り口は「安全」の徹底

「内を固める」取り組みは、トラック運送事業者の本業におけるミス・ロスの撲滅です。

事故の原因は「ドライバーの確認不足、操作ミス、スキル不足」などと指摘され、「安全意識の欠如が原因」といった結論をよく見かけます。しかし、事故の原因はドライバーの運転の仕方だけではありません。ドライバー自身の生活管理の仕方や配車、運行管理、車両管理といった管理の質に加え、営業のあり方、採用・教育のあり方、情報伝達のあり方等の業務の質や、階層間のコミュニケーションといった多くの要素が関係しています。

「安全」の実現を突き詰めることが、最終的には経営の質を高めることにつながり、「コスト競争力」の強化にもつながるのです。

エアブレーキ車では ブレーキの「バタ踏み」は危険です！

エアブレーキを装備したトラックは、ブレーキペダルの「バタ踏み」をするとブレーキの効きが悪くなることがあります。それが原因で、数台の車両と衝突する事故が発生したこともあります。エアブレーキ車の特質を理解し、安全運転を心がけてください。

「バタ踏み」とは、
ブレーキペダルを踏み込んだり、ゆるめたりする操作を短時間に必要以上繰り返すことです。

エアブレーキは、圧縮空気でブレーキをかける装置

エアブレーキとは、エアタンクに貯めた圧縮空気（エア）でブレーキをかける装置です。油圧を用いたブレーキに比べ、大きな制動力を期待できるのが特長です。そのため、積載時でも車両を確実に止められるよう中型・大型のトラックやバスに多く装備されています。

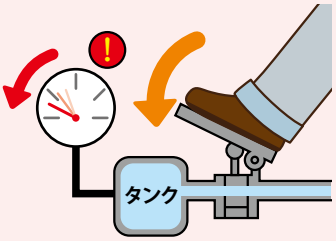
ご存知でしょうが、トラックやバスなどからときどき発せられるプシューという音は、エアブレーキを解除したときに溜まっていたエアが抜ける音です。

エアブレーキを装備したトラックは、ココに注意してください！

1 ブレーキペダルの「バタ踏み」はやめましょう

▼エアブレーキは、ブレーキを操作のたびにエアタンクに貯めた空気を消費します。ですから、走行中や停止中に「バタ踏み」をすると空気圧が大きく低下し、ブレーキの効きが悪くなることがあります。

▼エアタンク内の空気圧が低下すると、エアメーターの針がレッドゾーンまで落ちるとともに警報ブザーが鳴るので、極力フートブレーキを使用しないようにして、エンジン回転数をあげてエアが回復するのを待ってください。



▼エアブレーキは、乗用車などの油圧ブレーキと違い、踏み込む力ではなく踏み込んだ量でブレーキ力が決まるので、必要以上の量を踏み込まないようにすることが大切です。

※取扱説明書にも「バタ踏み」をしないよう記載がありますので、改めて確認してください。

2 下り坂ではエンジンブレーキを有効に活用しましょう

▼フートブレーキを使い過ぎると、ブレーキが過熱し「フェード現象」や「ベーパーロック現象」を起こし、ブレーキの効きが悪くなることがあり、大変危険です。

※「フェード現象」については、本誌2013年8月号に詳しく解説しています。

3 過積載は制動距離が伸び、事故の原因に

▼過積載をすると、通常より制動距離が伸びるなど思わぬ事故や故障の原因になります。そもそも過積載は法律で禁止されていますので、厳守をお願いいたします。

冬期におけるトレーラーのブレーキ引きずりによる火災にご注意！

リレー・エマージェンシー・バルブ内に水分があると、気温が下がる冬期に水分が凍結し、バルブ内のピストンが固着することによりブレーキが作動し続け、ブレーキの引きずりが発生して火災に至る場合があります。

気温が低下する冬期は、以下にあげるブレーキ機器内の点検整備を徹底してください。

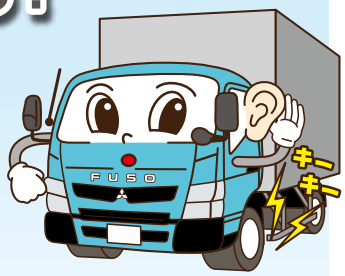
1. **エアタンク内の水分の有無の点検および除去＊**
2. **エアドライヤの点検整備**（乾燥剤やフィルターなどの定期交換等）
3. **リレー・エマージェンシー・バルブ内の水分の有無の点検および除去**

＊エアタンク内に凝水がないことの確認は法定点検項目です。

トラブルを未然に防ぐために

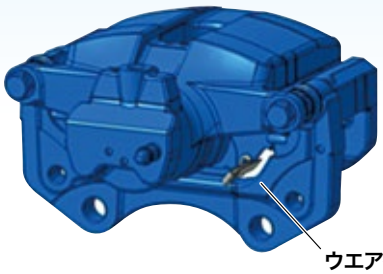
車輪から「キー、キー」と音が聞こえたらブレーキパッドの交換時期です!

ブレーキパッドは車両を止める重要な部品です。点検を忘れずに行ってください!



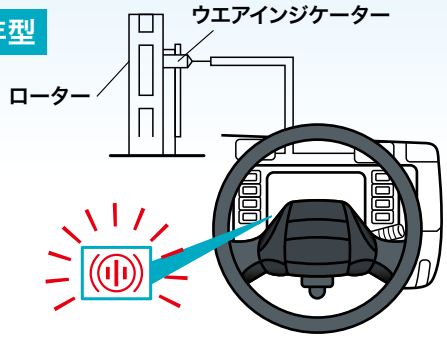
09年型キャンターから、ディスクブレーキのブレーキパッド摩耗検知方法が電気式から可聴式になっています。ブレーキパッドが摩耗限度まで摩耗するとパッドウエアインジケーターとディスクローターが接触して音を発生します。車輪付近から「キー、キー」と音が発生することでブレーキパッドの交換時期を知らせます。音が聞こえたら、速やかに一軸単位でブレーキパッドの交換をお願いします。

09年型



可聴式ウエアインジケーター(摩耗検知器)

08年型



電気式ウエアインジケーター(摩耗検知器)

ディスクブレーキパッドの残量の定期点検を忘れずに!

ディスクブレーキパッドの残量の点検を怠ると、下記のようなトラブルを引き起こす恐れがあります。
定期的に点検を行い、トラブルを未然に防ぎましょう。

トラブル例1 パッドが基準値以上に摩耗すると、ブレーキの効きが悪くなります。

トラブル例2 パッド残量が基準値を大幅に超えて摩耗すると、ブレーキの効きが悪くなるだけでなく、パッドが脱落してブレーキの効き不良が発生するなど、思わぬ事故を引き起こします。

摩耗を防ぐ!

ブレーキ操作の注意点

適切なブレーキ操作で、ディスクブレーキパッドやドラムブレーキライニングの早期摩耗を防ぎましょう。

■ マニュアル車の場合の降坂走行

●坂道を下るときは、フートブレーキ(足踏みブレーキ)だけでなく、エンジンブレーキ、エキゾーストブレーキを併用しましょう。フートブレーキを使いすぎると、ベーパーロック現象やフェード現象を起こし、ブレーキの効きが悪くなることから大きな事故につながる恐れがあります。

■ A/T車の場合の降坂走行

●フートブレーキだけでなく、エンジンブレーキを併用してください。
●オーバードライブスイッチを“OFF”にし、エンジンブレーキを効かせます。また、状況に応じて“3”、“2”、“L”の位置に入れてエンジンブレーキを効かせます。

車種・モデルにより点検方法が異なります。詳しくは各車両の取扱説明書をご確認のうえ、忘れずに日常点検・交換を行ってください。

点検・整備についてご不明点などございましたら、お近くの三菱ふそうサービス工場にお問い合わせください。

三菱ふそうホームページでお役立ち情報をゲット!

三菱ふそう 検索

http://www.mitsubishi-fuso.com/

ホームページでは、三菱ふそうの情報や省燃費運転のポイントなどが紹介されています。お客様にお役立ちの情報なども更新されているため、日ごろからのチェックをお願いします。

外出先からでも、販売店やAdBlue® 拠点を検索できます!

QRコードでラクラクアクセス ▶

http://masp.mapion.co.jp/b/mftb_m/

「いっしょにつくろう！」をテーマに さまざまな体験ができる 楽しいブースが大人気！

三菱ふそうは、昨年11月23日から東京ビッグサイトで開催された「第43回東京モーターショー2013」に参加、
女性社員有志で企画した「キャンター エコ ハイブリッド “Canna（カンナ）”」や、
日本初公開となるアジア・アフリカ戦略車「FI」をはじめとする7台の車両を出展しました。
今回のブーステーマは “いっしょにつくろう！”。
お客様に楽しくトラック・バスの世界を体感できる展示が注目を集めました。

三菱ふそうの体感コーナーに来場された方も興味津々

「第43回東京モーターショー2013」は、「世界にまだない未来を競え」のテーマの下、世界12か国から計178社・181ブランドが出展しました。10日間の会期の総来場者数は前回を大きく上回る90万2800人を記録、期待の高さが伺われました。

今回、三菱ふそうブースでは、従来の技術中心の展示ではなく、ブースのテーマを〝いっしょにつくろう！〟とし、さまざまな体感、体験を通して、トラックやバスをもっと身近に感じていただける内容としました。それは、B（三菱ふそう）toC（一般来場者）toB（顧客）を実現する新たな試みでもありました。

たとえば、iPadを活用してキャンター エコ ハイブリッドの優れた燃費を体感できるドライビングシミュレーターや、自分好みのトラック・バスをデザインできるコーナーなど、お客様に楽しくトラック・バスの世界を体感できる展示を用意しました。

来場された方も、三菱ふそうのブースに来ると「何をしているのだろう？」と興味津々。コンパニオンの勧めに、列を作って順番を待つ方が大勢いらっしゃいました。

お客様と社会の信頼にお応えするために

三菱ふそうのアルバート・キルヒマン代表取締役・CEOは、今回の出展に際し、次のように挨拶をしました。

「当社は、日本の商用車産業における燃費分野で、すでにリーダーであります。今回のブースのテーマである〝いっしょにつくろう！〟は、当社の素晴らしい商品の評価を高めていくために、お客様に対してオープンな姿勢を示すとともに、〝三菱ふそうとは何か〟、そして、将来に向けての方向性を示すものです。

80年のFUSOの歴史と当社の核になるものは、お客様、社会との繋がりにより形成されてきたものです。私たちは、お客様、取引関係先、そして社会に対して、輸送ニーズにマッチした適切な商品やサービスを提供することで信頼を築いてまいりました。

その信頼にお応えするためにも、より高い品質のサービス体制を提供する必要があると考えています。たとえば、2013年は直営の整備工場を新たに5か所オープンしました。今後もさらに整備工場のリニューアルを実施していく計画です。

当社の未来は、今後も引き続きお客様、そしてFUSOと繋がっている〝すべての人々〟とともに、つくり上げたいと考えています」

女性の、女性による、女性のためのトラック

「キャンター エコ ハイブリッド Canna（カンナ）」（参考出品）

「Canna」は、三菱ふそうの女性社員有志がプロジェクトを立ち上げ、女性の視点に立ち、外観デザインから内装に至るまで企画した、エコでキュートな小型ハイブリッドトラックです。

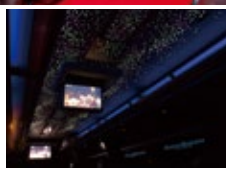
路上故障に幅広く対応可能な修理サービスカー

「キャンター エコ ハイブリッド Moving Pit」（参考出品）

三菱ふそうでは、路上故障に幅広く対応できる修理サービスカー（愛称：〝Moving Pit〟）を全国の主要拠点に配備しています。次世代モデルの「キャンター エコ ハイブリッド Moving Pit」は、ベース車両に「キャンター エコ ハイブリッド」を採用するとともに、緊急対応可能な装備として、エアコンプレッサー、発電機、溶接機、エンジンオイル交換機などを搭載しています。

バスツアーにおける快適性を追求した大型観光バス

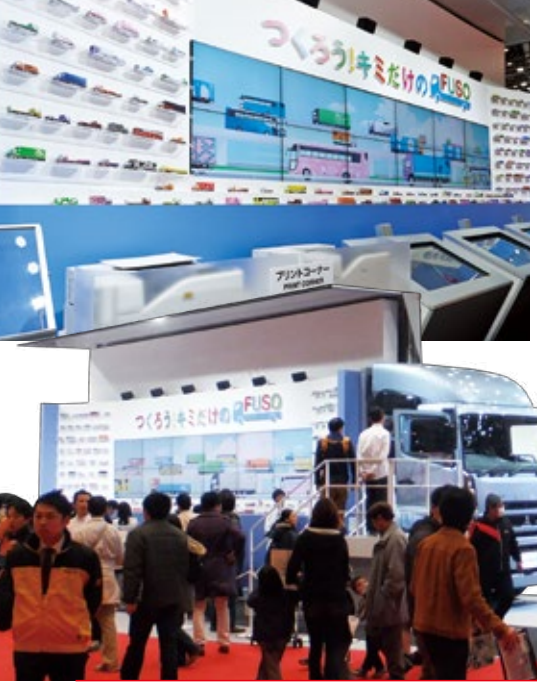
「エアロクィーン Premium Cruiser」（参考出品）



室内では夜間照明として星空が浮かび上がるとともに、最高級の音響設備で格別のラグジュアリーさを演出します。

展示車の〝体感ツアー〟で格別なラグジュアリーさを実感

飛行機のビジネスクラスに匹敵する一人掛け独立シートを13席配置し、通常55人乗りの定員をゆとりの13人乗りとした、新開発の「エアロクィーン Premium Cruiser」。衝突被害軽減ブレーキ「AMB」、運転注意力モニター「MDAS-Ⅲ」を標準装備。



自分好みのトラック・バスがデザインできる「つくろう！キミだけのFUSO」コーナーが大人気！

画面をタッチするだけで、自分好みのトラック・バスがデザインできるこのコーナー。女性やお子様にも人気で、順番待ちができるほどでした。デザインした車両はクラフト紙にプリントアウトして、体験者にプレゼント。なんと、組み立てることができるのです！

メカニックの作業を遊び感覚で体験！「なってみよう！FUSOのメカニック」コーナー

「キャンターエコハイブリッドMoving Pit」の横に設けられたのが、「なってみよう！FUSOのメカニック」コーナー。レンチやラチェット回しが遊び感覚で体験できます。

ファイター

中型トラック「ファイターDump」を使って普段は見ることのできないトラックの機構をわかりやすく展示解説。

レストア　キャンター

三菱ふそう有志社員による「ふそう名車復元プロジェクト」によって完全レストアされた「キャンターT90」。同プロジェクトについては、本誌2012年8月号、9月号で特集しました。

アジア・アフリカ向け戦略車、中型トラック「FI」を日本初公開！

「FUSO」ブランドのアジア・アフリカ向け戦略車として開発された、車両総重量9～16tの中型トラック「FI」。インドのオラガダム工場で生産され、高い耐久性と積載量、パワフルな走行性能を実現しています。

「お台場モーターフェス」が初開催

「東京モーターショー2013」開幕の前週、昨年11月16、17日とモーターショー開催期間中に、お台場・青海エリアで「お台場モーターフェス」（日本自動車工業会主催）が新たな試みとして初開催されました。このフェスは、より多くの若者やファミリー層にクルマ・バイクに触れてもらい、その魅力を感じてもらおうと開催されたイベント。初日の16日には、日本の往年の名車、レーシングカーなどがお台場の街を疾走する「ODAIBAモーターパレード」が行われ、キャンターのレストア車と「東京モーターショー2007」に出品されたコンセプトカー「キャンターECO-D」も走行しました。

2代目キャンターのレストア車と都市型ダンプのコンセプトカー「キャンター ECO-D」がお台場の街を疾走しました！

三菱ふそう キャンター エコ ハイブリッド

燃費チャレンジカップ決勝ラウンド 地区代表6名のドライバーが大接戦！

クラストップの燃費性能を実現した「キャンター エコ ハイブリッド」による燃費チャレンジレースは、昨年10月から全国6地区で予選ラウンドを開始、昨年11月23日にいよいよ東京で決勝大会が開催されました。

増上寺からスタート！

東京駅を通過！

国会議事堂前を通過！

六本木を抜け、桜田通りを南下！

多摩川を渡り、川崎市へ！

三菱ふそう川崎工場がゴール！

決勝コースは、東京・芝公園にある増上寺からスタートし、丸の内や皇居の外周、六本木などを巡りながら、神奈川県川崎市にある三菱ふそう川崎工場に設けられたゴールへと向かう約33kmにおよぶ都心の難コース。各地区の優勝者6名は、自分流の燃費走行を駆使しながらチャレンジし、全員が好成績を収めました。

優勝者の長島さんに賞金が授与されました。

■ 決勝の上位3者

優　勝	関東ラウンド代表	長島 智春さん	10.439 km/ℓ
第2位	近畿ラウンド代表	前田 健さん	10.364 km/ℓ
第3位	東海ラウンド代表	炭竈 充さん	10.273 km/ℓ

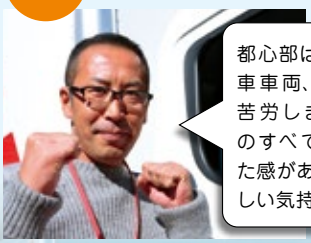
今回の燃費チャレンジカップでは、地区ラウンドから参加ドライバーの皆様のみならず、多くのお客様にご協力をいただきありがとうございました。この大会を通じて、三菱ふそうキャンター エコ ハイブリッドが、高い実燃費性能を引き出しやすい車両であることを参加ドライバーの皆様に証明していただけました。また、参加された多くのお客様が、エコドライブには日々の運転時の心がけが重要であることを改めて実感されていたのが印象的でした。

優勝者 関東ラウンド代表 長島 智春 さん

優勝燃費 10.439km/ℓ

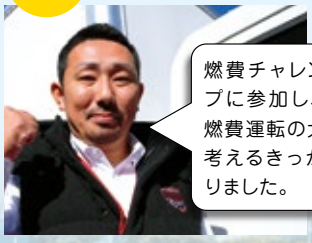
決勝コースは距離が長く、アップダウンもあり、しかも車線が多くて割り込み車を気にしながらの運転だったので、難しかったですね。関東代表としての責任を果たせ、ホッとしました！

第2位 近畿ラウンド代表 前田 健 さん



都心部は交通量や駐車車両、信号が多く苦労しました。自分のすべてを出し切った感があるので、清々しい気持ちです。

第3位 東海ラウンド代表 炭竈 充 さん



燃費チャレンジカップに参加し、改めて燃費運転の大切さを考えるきっかけになりました。

燃費チャレンジカップの詳細はWebで！
>>> fusoeco.com

「御殿場高原　時之栖」から眺める富士山。施設内のいたるところに富士山のシャッターポイントがある

静岡

御殿場

世界遺産に登録された霊峰を眺め、新しい一年の始まりを祝う。

美しくも圧倒的な姿は、標高3776m。古くから多様な信仰の対象として崇拝され、日本のシンボルとして国内外を問わずその名が知られる霊峰、富士山。ついに昨年6月、関連する文化財群とともに「富士山 - 信仰の対象と芸術の源泉」の名で、ユネスコの世界文化遺産に登録されました。これを機に、改めて世界中から注目を集め、麓の街並も活気に満ちています。静岡県東部に位置する御殿場市もまた、富士山の雄大な姿を借景とした街の一つ。新東名高速道路の順次開通によって東京や名古屋方面からのアクセスが便利になりつつある御殿場市には、豊かな自然が満喫できる大きな公園や、国内最大級のアウトレットモールなど、多彩なレジャー・観光スポットが充実しています。

中でも冬のオススメスポットといえば、「御殿場高原 時之栖（ときのすみか）」。温泉や宿泊施設、豊富なスポーツ施設などが揃った9万8千坪のリフレッシュエリアです。毎年11月から翌年の3月には、「冬のイルミネーション」が催され、例年多くの人々が幻想的な夜を楽しみます。

ご当地グルメもまた、御殿場の醍醐味。かつてお祝いの宴に出されていた「みくりやそば」や、富士山をかたどった「富士山水菜カレー」など、味だけでなく縁起も良い逸品に出会うことができます。

新春は御殿場で心と体に元気をもらって、新しい一年をスタートさせてみてはいかがでしょうか。

桜の礼拝堂

ウエディングはもちろん、その他催し物などに利用できる、ステンドグラスが美しい礼拝堂。

スローハウスヴィラ

施設内にはホテルタイプとロッジタイプからなる計7つの宿泊施設を用意。（写真はロッジタイプ・スローハウスヴィラ）

愛の鐘

毎日昼12時には施設内に音色が響き渡る、世界最大級のベル。自然災害で被害を受けた方や遺族のために鋳造。

多彩な魅力が満載の時之栖

毎年恒例となった「冬のイルミネーション」。今年は3月9日（日）まで開催。特に最高到達70メートルの噴水エンターテインメントショー「ヴェルサイユの光」（有料）は必見!

ゆったり寛ぎたいなら、温泉施設もオススメ。あらゆる効能の様々なお風呂がある気楽坊（きらくぼう）と、雄大な富士を臨む「天空の湯」を備えた茶目湯殿（ちゃめゆどの）では、日帰り入浴が楽しめる。

サッカーグランド、テニスコート、ビーチバレーコート、バスケットコートなど、時之栖にはたくさんのスポーツ施設が充実。ヘラブナ釣りやセグウェイの体験もできる。

絶品! ご当地グルメ

御殿場地方で古くからお祝いの宴の締めに振る舞われていたという、つなぎに「山芋」や「自然薯」を使ったそば。中でも「駿河流手打ちそば 金太郎」ではこの時期、地鶏を使った御殿鶏そばが人気。

（駿河流手打ちそば金太郎 御殿鶏そば 700円（税込））

富士山の湧水で育てた水菜が添えられた、御殿場産こしひかりを使ったご当地カレー。「れすとらん力亭」では、金華豚あらびき肉を使用。辛さも選べ、地産のわさびコロッケとともに味わうことができる。

（れすとらん力亭 御殿場富士山水菜カレーA 950円（税込））

富士山の麓のおいしい水と、食べ頃の生のフルーツをそのまま使って、毎日手作りで製造。季節によって様々な生フルーツゼリーが味わえる。個別発送を行っていないため、店頭でのみ購入できる逸品。

（フルフール御殿場 フルーツミックスの生フルーツゼリー 420円（税込）ほか）

時之栖内で醸造されている、富士山の伏流水とドイツの技術が生んだ本格派ビール。地ビールとして国内最大級の醸造量を誇る。ピルス、シュバルツ、ヴァイツェンなど定番のほか、季節限定ビールなど常時6種類を用意。

（御殿場高原時之栖 御殿場高原ビール各500ml 504円（税込））

ココもオススメ! 寄り道スポット

■ 駒門風穴

かつて富士山の大爆発によって誕生した溶岩隧道（ようがんずいどう）。国内で原型を保ったものとしては最も古く、大正11年には天然記念物にも指定されている。（観覧料:大人200円）

■ 平和公園

インドの故ネール首相から贈られた仏舎利を収める仏舎利塔をシンボルにする公園。富士山の眺めも良く、桜やツツジの名所としても知られる。

富士山と田園風景に癒やされる、和風建築の休憩スポット。

道の駅 ふじおやま

富士山の雄大な姿を拝むことのできる、国道246号線沿いでは唯一の道の駅。地元の素材が味わえるレストランや、小山町の特産品を扱った物産品販売所などが揃う。

静岡県駿東郡小山町用沢72-2
電話番号:0550-76-6600
【営業時間】7:00~20:00（各施設による）　【定休日】年中無休

P 普通車64台 大型車42台 EV車1台

FUSO TRUCK & BUS MAGAZINE 2014 1月号[No.021]
2014年1月1日発行(毎月1回1日)
発行 三菱ふそうトラック・バス株式会社 〒212-0058 神奈川県川崎市幸区鹿島田1-1-2
企画・編集 FUSO TRUCK & BUS MAGAZINE 事務局 〒211-0023 神奈川県川崎市中原区大倉町10 TEL.044-331-5579
制作・印刷 株式会社リョーイン

注意してますか！

疲れ目をしっかりケア

健康維持のために続けていることや、体のちょっとしたトラブルへの対処など、
健康に関する情報を読者のみなさんからお寄せいただくこのコーナー。

今回のテーマは

目のセルフケア

運転中に乾燥しやすい！ 目の奥が痛い！

安全運転を支える
目のケア方法を紹介します。

じっくり温める

冷やすのも気持ちがいいものですが、最近では運転で疲れた目は温めてケアしています。ホットアイマスクは、手軽でとっても気持ちがいいです。

（T.k様　40代）

ブルーベリーを飲む

夕方になると細かい作業や書き物が嫌になる時があります。そこで、知人にすすめられてブルーベリーを飲んでいますが、気のせいか、目の調子がいいです。皆さんもどうですか。

（Y.E様　50代）

温めてから冷やす

温タオルをまぶたの上に5分ほど置いた後、冷タオルを置く。これを2〜3回繰り返しています。温・冷の反動で血液の循環を促すので、疲れ目の回復に効果的なようです。

（N.k様　30代）

お風呂でツボ押し

入浴時などリラックスした時に、目に効くツボを指圧しています。眉毛の内側や目と鼻の間のくぼみ、こめかみの下の少しくぼんだ部分などをやさしく押すようにしています。

（M.N様　50代）

目のストレッチ

目のまわりの筋肉をほぐすためのストレッチをしています。方法は目をギュッと閉じ、パッと開ける。開けたらそのまま目玉を上下左右に動かす。どこでもできて簡単です。

（R.I様　40代）

加湿の対策

目が乾燥しないように気をつけています。車内や室内ではエアコンが乾燥の原因になるので、風が直接目に当たらないようにしたり、加湿器を用意するなどの対策をしています。

（M.U様　30代）

掲載の記事の内容は、あくまでも民間療法の一種であり効果には個人差があります。ご自分に合う対処法を見つけるための参考としてお役立てください。

みなさんから健康情報を大募集！

「ふそうコミュニティスクエア」に投稿しませんか。

3月号 ウトウトは危険! 運転中の眠気対策　［締切］1月15日

投稿いただき採用された方には、
三菱ふそうオリジナル
キャンター ダイキャストモデルをプレゼントいたします。

1/43スケール
（全長約135mm）

●採用の場合、お名前をイニシャルで掲載させていただきますので、イニシャルもご記入ください。
●同じ内容の投稿があった場合、抽選とさせていただきます。　●掲載について、事務局から質問させていただく場合がございます。

会社名：	ふりがな お名前：	イニシャル
〒 住　所：	電話番号：	
	メールアドレス：	
年齢：　歳　性別：男　女	現在お取り引きのある三菱ふそう販売店名：	支店名：　支店

※採用の発表は、プレゼントの発送をもってかえさせていただきます。※ご記入いただいた個人情報は、企画への投稿内容の質問、プレゼント発送以外の目的では利用いたしません。

FUSO TRUCK & BUS MAGAZINE 事務局宛てにFAXしてください。
●上記内容を、fuso-magazine@ryoin.co.jpへメールをしていただいても結構です。

FAX 044-331-3847
※FAX番号をお間違えないようにご注意ください。

トラック・バスのお問い合わせは、三菱ふそう販売店へ

facebook 三菱ふそう / FUSO Japan

YouTube 三菱ふそう 公式チャンネル
http://www.youtube.com/user/Fusoofficial

三菱ふそうトラック・バス株式会社
www.mitsubishi-fuso.com